

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3 年	2	必修
担当教員			
小板橋 信二			
A (会計学科)	S (専門科目)	SM (演習)	401 (専門ゼミ・卒業論文等)

授業のねらい（概要）	地域金融と企業実態把握に関する研究をテーマに、専門知識、情報収集・整理から問題解決のスキルを身に付けることを目的とする。特に、先の見えない状況、正解のない問題に対して「さまざまな事実と情報から自分ならどうすべきか」という答え（具体的な解決策）を見つけ出す方法について学ぶ。 卒業研究に向かって、文献購読の方法や研究計画の管理、研究論文の書き方、研究発表の方法などを指導していく。
授業計画	第1回、第2回、第3回、第4回は【遠隔】 第1回 ガイダンス 第2回 企業審査の重要性、企業の見方 第3回 与信の考え方、企業調査の知識と概要 第4回 新聞記事の活用 第12回、第13回、第14回は【課題】 第12回 知ってナットク！（金融庁）事例集から学ぶ① 第13回 知ってナットク！（金融庁）事例集から学ぶ② 第14回 知ってナットク！（金融庁）事例集から学ぶ③ 1. 専門領域の基礎的な研究能力養成と研究意識涵養 ①企業分析の基礎知識と分析スキル 教科書「企業審査入門」の輪読とディスカッション （担当者がレジュメを作成し発表、質疑応答） ②地域金融の現状と課題についての基礎知識 金融庁が公表する「中小・地域金融機関向け総合的な監督指針」など を用いてディスカッション （課題・問題を集約し将来像や解決策を議論） 2. 経済・金融の基礎知識修得 ビジネス（経済、金融、業界、企業等）に関する新聞記事を要約し発表 （レポート作成（取上理由や社会・生活への影響、自身の感想など）、質疑応答） 3. 効果的・効率的なプレゼンテーション プレゼンの技術、チャートの活用、伝え方の重要性 4. 社会体験の実施 アウトキャンパスディを利用して工場・企業見学を予定している 春：群馬県地場産業の現場実査 予習（時間）：発表者は担当するテーマについて教科書・新聞等を熟読、レジュメを作成し発表の準備 他のゼミ生は教科書等を熟読し、意見・質問の準備（120） 復習（時間）：配布資料・講義ノートの見直し（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 【身に付くスキル】 生涯学習力・情報活用能力
到達目標	①問題解決の基本プロセスを理解する。 ②財務と事業を一体のものとして企業を分析するスキルを身に付ける。 ③共感と共有のあるプレゼンテーションを行うことができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題レポートの注意事項や重要事項は、授業内で適宜説明する。
履修上の注意	①授業には意欲的に参加し積極的に発言すること、また他の人の意見・考えは尊重すること。 ②経済・社会情勢、業界・企業動向に関する新聞記事には毎日目を通すこと。 （興味を持った記事はスクラップすることが望ましい） ③ゼミ生自ら社会見学（工場、企業）の起案をすることを期待する。 ④止むを得ず欠席する場合は事前連絡すること。
成績評価の方法・基準	①提出レポート30%、②学修意欲70%
教科書	書名：企業審査入門 著者：久保田政純 出版社：日本経済新聞出版社 価格：860円（税別）
参考書・教材	書名：仕事にも投資にも役立つ 角やん流経済・金融かんたん勉強法 著者：角川総一 出版社：近代セールズ社 価格：1,500円（税別） 書名：実務必携 企業審査ハンドブック 著者：久保田政純 出版社：きんざい 価格：3800円（税別）
備考	講義科目／実務家教員による授業 第12回、第13回、第14回を課題研究として学修する。 第12回 事例研究：小売業、製造業ほか 第13回 事例研究：運送業、宿泊業、飲食業ほか 第14回 事例研究：建設業、不動産業ほか 3回の課題研究共に、金融庁発行の「知ってナットク！事例集」を基に企業の課題解決を提案する。

	資料や情報の配信・指示及びレポートの提出はmellyなどで行う。共に全体で330分の学修を想定する。 解説及びポイントは書面又は第15回の対面授業でフィードバックを行う。
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知）